

<机差岳朝日に映えて⑦ 令和6年7月9日>



未来のハローワーク

教育長 津野庄一郎

7月4日（木）午後、村民会館アリーナで、第4回未来のハローワーク（共催：地域学校協働本部・学校運営協議会／担当：坂爪淳教育指導員）が開催され、関川小の6年生と関川中の全校生徒130人余りが参加しました。村内で起業したり、お仕事をされたりしている方から、直接、具体的なお話をお聞きし、様々な職業への理解を深め、自分の生き方を見つめるとともに、将来を考えるきっかけにしてもらうために行っています。また、関川村のよさを発見し、ふるさとへの思いを新たにすることを期待するものです。

当日は、村上市消防本部の平田圭佑さん（同村出身・警防課救急係）と、渡邊友紀さん（総務課庶務係）から、「消防の日常」について講話をいただきました。その後、村内11の事業所の代表の方々から、仕事の工夫と努力の様子、考え方などをプレゼンしていただき、子どもたちは各コーナーを訪問し、熱心にメモを取ったり、模擬体験をしたりして学びました。

「人は何のために働くのか」、内閣府の国民生活に関する世論調査（令和4年10月／18歳以上の男女）によれば、1位は「お金を得るため63.3%」、2位が「生きがいを見つけるため14.1%」、3位が「社会の一員としての務めを果たすため11.5%」4位が「自分の才能や能力を発揮するため6.7%」とあります。

働く目的に正解はありません。ありませんが「人は何のために働くのか」の答えを自分なりに見出し、一人一人が幸せな人生を切り拓いてほしいと切に願います。子どもたちが今回の活動を通して、各事業所の方々のメッセージをどのように受け止めたのか。それをどう今後の日常に生かしていくのかがとても楽しみです。この日のためにご多用中にもかかわらず時間を作り、講話やプレゼンをしてくださった皆様には、感謝しかありません。本当にありがとうございました。

全てのプログラムが終了した後、誰言うともなく進んで机や椅子等を片付ける中学生の姿に、私は学びの確かさを感じ、温かい気持ちになりました。

【写真】未来のハローワーク（コーナーで発表に聞き入る子ども）